

石油由来資源材料の低減に向けて ～プラスチック/セルロースファイバー 複合物の成形性と強度評価～

日時 2024年 10月23日 (水) 13:30～16:00

会場 鳥取県産業技術センター電子・有機素材研究所
(鳥取市若葉台南7丁目1-1) ※オンラインでの参加も可能

対象 県内のプラスチックやゴムを使用している県内企業の技術者、経営者の方 等

石油由来資源材料の低減に向けて、プラスチックやゴムを使用している県内企業でも、今後は現在使用中の材料に代えてバイオマス複合材料の利活用を検討していく必要があります。

そこで今回、セルロース樹脂複合材の開発の最前線にいるメーカー技術者に講演いただくほか、産業技術センターが県内企業に協力いただきセルロース配合樹脂ペレットを用いた試作事例をご紹介します。

1 技術講演

13:35～14:35

「王子HDのセルロース樹脂複合材「タフセル」シリーズ およびセルロースナノファイバーの紹介」

王子ホールディングス(株)イノベーション推進本部

CNF創造センター 中山 靖章 氏

王子HD(株)が提供するセルロース樹脂複合材料の開発の現状と応用事例、製品化に向けた動きのほか、バイオマス複合材料の今後の動向を紹介いたします。



木質パルプ

2 試作事例の紹介

14:40～15:00

「セルロースファイバー配合樹脂ペレットを用いた成形試作および 強度評価の結果報告」

(地独) 鳥取県産業技術センター有機材料グループ

県内のプラスチック、ゴム関連企業では、現在使用している樹脂に対し、市販バイオマス複合樹脂が適用できるか不明な状況にあります。そこで、産業技術センターでは令和6年度、県内企業の皆様が日頃使われている樹脂とセルロースファイバー配合樹脂ペレットとの複合化について成形試作および強度特性評価を行いました。その結果についてご報告します。



3 意見交換会

15:00～15:30

材料の複合化について、講師の中山氏を交えてセンターと参加企業の情報交換を行います。
※意見交換会の後、個別相談の時間を設けます。

4 個別相談会

15:30～16:00

希望される企業の方には、意見交換会の後、個別相談の時間を設けます。

主催 地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター

講師紹介

中山 靖章 (なかやま やすふみ) 氏

王子ホールディングス (株) イノベーション推進本部 CNF創造センター 上席研究員

1992年に旧王子製紙 (現在の王子ホールディングス) に入社されて以来、研究開発業務に従事し、塗工紙 (印刷用紙、ゼロックス用紙、昇華熱転写用紙) や不織布 (湿式不織布、乾式不織布) などの数多くの製品開発に携わられています。最近では、セルロースのナノファイバー (CNF) やマイクロファイバー (パルプ) を活用した製品開発やマーケティング業務に取り組まれております。

環境配慮型有機材料研究会 (10/23開催) 申込書

申込み方法: 下記に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお送り下さい。

産業技術センターホームページからでもお申込みいただけます。

申込み期限: **10月22日 (火)**

参加申込み・問合せ先:

(地独) 鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所

有機材料グループ 山本、村田、谷岡

〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1

TEL: 0857-38-6200、FAX: 0857-38-6210

E-mail: tiitdenshiyuuki@tiit.or.jp

産業技術センターホームページ: <https://tiit.or.jp/>

◆ オンライン参加の方には当日までに招待メールを送信しますので、メールアドレスを必ずご記入願います。

会社名			
所在地			
TEL		FAX	
E-mail			
参加者	氏名	部署・役職	
参加方法	会場に参加 ・ オンラインで参加 (どちらかに○)		
個別相談	希望する ・ 希望しない (どちらかに○)		
樹脂材料、複合化について聞いてみたいことや自社の課題をご記入下さい	情報交換の参考とさせていただきます。(別途、メール等でお知らせいただいてもかまいません)		

※記載された個人情報は当センターで適切に管理し、本講習会以外の目的には使用しません。
※なお、当該情報は法令に定める場合を除き、第三者に提供することはありません。